

やはり、その中に食べられないものがある。

それなのに、腹が減ってるとばかりに、少ないおかずで、飯を三杯半食べて、腹が少し重い。

僕の班では、ナポレオンが大はやりだ。僕には、それ程おもしろいとは思えない。わざわざ、九州にまで来て、と思う。まわりのきれいな風景の絵でも本当は、スケッチしたい気分。

そばで横になって、目をふたして、九時十五分の集合を待とうと思った。

が、急に、気が変わって、玄関へ行き、昨日の台所のそば迄行った。

お手伝いさんが、僕らの朝飯の始末をしている。例の窓の方を見ると、若い女の子の横顔が見える。皿を一杯積んで、石鹼で泡だらけで洗っている。横顔が逆光で黒いシルエツトで、はっきり見えない。

扇風機がまわっているが、日がさし、暑っそう。

別のおばさんが僕に気がついた。

「なにか用か」と言う顔だ。僕は、すまして、その場を、なんもない顔して去った。

なる様になる迄だ